

扶養親族等申告書 作成用シート(平成31年用)

司法書士国民年金基金

● 準備のため、ご家族の構成を記入してみましょう。

ご家族	お名前	ご年齢	障害	別居の場合に○、海外等非居住○印	1年間のご収入(平成31年)	
					予測金額(※)	種類
配偶者の方	(死別、離婚、生死不明)	歳	無・普・特	別・非	万円	年金・給与
お子様		歳	無・普・特	別・非	万円	年金・給与
〃		歳	無・普・特	別・非	万円	年金・給与
親御様		歳	無・普・特	別・非	万円	年金・給与
〃		歳	無・普・特	別・非	万円	年金・給与
他扶養親族		歳	無・普・特	別・非	万円	年金・給与

(注意)ご年齢は、すべて平成31年12月31日でご判断ください。

※ 実際にお受け取りになる総額。申告書にご記入いただく「所得金額の見積額」は、この予測金額ではありません。「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書(平成31年分)記入要領」A3両面の裏面「Ⅲ 所得金額の見積額の計算方法」をご覧ください。

● 扶養親族等申告書をご覧になりながら、記入してみましょう。

「受給者本人」欄の記入

✓ 「公的年金等の受給者の扶養親族等申告書(平成31年分)記入要領」A3両面の裏面「◆「障害の区分」◆「寡婦・特別寡婦・寡夫」をご覧ください。

質問① あなたご本人は障害者ですか？

➤ いいえ⇒「障害なし」に○印を記入。

➤ はい↓

◇ 普通障害者の場合⇒「普通障害」に○印と摘要欄に身体障害者手帳等の種類と交付年月日・障害の程度(等級など)を記入。

◇ 特別障害者の場合⇒「特別障害」に○印と摘要欄に身体障害者手帳等の種類と交付年月日・障害の程度(等級など)を記入。

質問② あなたご自身は寡婦(夫)ですか？

➤ いいえ⇒「該当なし」に○印を記入。質問③へ

➤ はい↓

◇ 寡婦の場合⇒「寡婦」に○印と摘要欄に寡婦の要件にかかる事実を記入。

- ◇ 特別寡婦の場合⇒「特別寡婦」に○印と摘要欄に特別寡婦の要件にかかる事実を記入。
- ◇ 寡夫の場合⇒「寡夫」に○印と摘要欄に寡夫の要件にかかる事実を記入。
- ◇ 要件にかかる事実は、記入要領（A3 サイズ）の【記入例】を参照してください。

質問③ あなたの平成 31 年の所得見積額は 900 万円以下ですか？900 万円超ですか？

- 900 万円以下⇒「900 万円以下」に○印を記入。
- 900 万円超⇒「900 万円超」に○印を記入。

「配偶者」欄の記入

（質問 2 で寡婦・特別寡婦・寡夫と答えた方は質問⑦へ）

質問④ 配偶者の方の氏名・生年月日が印字されていますか？

- は い
 - ◇ その印字内容（氏名・生年月日）に変更がなければ、氏名のよみがな・続柄(夫 又は 妻 に○印)を記入してください。質問⑤へ。
 - ◇ 控除対象者から外れる場合は、訂正印なしで二重線を引いてください。質問⑦へ
- いいえ
 - ◇ 配偶者がおられる場合、質問⑤からにより控除対象者として該当すれば氏名・よみがな・生年月日・続柄・マイナンバー記入してください。
 - ◇ 配偶者がおられない場合、質問⑦へ

質問⑤ あなたの所得金額の見積額は 900 万円超えますか？

- は い⇒質問(ア)へ
- いいえ⇒質問⑥へ

質問(ア) 配偶者の方は障害者で、且つ、配偶者の方の平成 31 年度中の所得金額の見積額は 38 万円以下ですか？

- は い↓
 - ◇ 普通障害者⇒申告書「障害」欄の「普」に○印と摘要欄に身体障害者手帳等の種類と交付年月日・障害の程度(等級など)を記入、「所得見積額」欄に所得金額の見積額を記入。質問(イ)へ
 - ◇ 特別障害者⇒申告書「障害」欄の「特」に○印と摘要欄に身体障害者手帳等の種類と交付年月日・障害の程度(等級など)を記入、「所得見積額」欄に所得金額の見積額を記入。質問(イ)へ
- いいえ↓(裏面へ)

- ◇ 障害者でない場合、又は、障害者だが所得金額の見積額は 38 万円を超える場合は申告の対象にはなりません。申告書の欄には記入しないでください。質問⑦へ

質問(イ) 配偶者の方と同居していますか？

- 同居⇒申告書「別居」の欄には記入なし。質問(ウ)へ
- 別居⇒申告書「別居」の欄に○印を記入。質問(ウ)へ

質問(ウ) 配偶者の方は日本国外に住居していますか？

- 日本国内⇒申告書「非住居」の欄には記入なし。質問⑦へ
- 日本国外⇒申告書「非住居」の欄に○印を記入し、戸籍の付票等の写しを添付してください。質問⑦へ

質問⑥ 配偶者の方の所得金額の見積額は 85 万円以下ですか？

- はい⇒申告書「所得見積額」欄に所得金額の見積額を記入。質問(エ)へ
- いいえ⇒85 万円を超える方は申告の対象にはなりません。申告書の欄には記入しないでください。質問⑦へ

質問(エ) 配偶者の方は障害者ですか？

- はい↓
 - ◇ 普通障害者⇒申告書「障害」欄の「普」に○印と摘要欄に身体障害者手帳等の種類と交付年月日・障害の程度(等級など)を記入。質問(オ)へ
 - ◇ 特別障害者⇒申告書「障害」欄の「特」に○印と摘要欄に身体障害者手帳等の種類と交付年月日・障害の程度(等級など)を記入。質問(オ)へ
- いいえ↓
 - ◇ 申告書「障害」欄の「なし」に○印を記入。質問(オ)へ

質問(オ) 配偶者の方と同居していますか？

- 同居⇒申告書「別居」の欄には記入なし。質問(カ)へ
- 別居⇒申告書「別居」の欄に○印を記入。質問(カ)へ

質問(カ) 配偶者の方は日本国外に住居していますか？

- 日本国内⇒申告書「非住居」の欄には記入なし。質問⑦へ
- 日本国外⇒申告書「非住居」の欄に○印を記入し、戸籍の付票等の写しを添付してください。質問⑦へ

「扶養親族」欄の記入

質問⑦ 親族の方の氏名・生年月日が印字されていますか？

- はい
 - ◇ その印字内容(氏名・生年月日)に変更がなければ、氏名のよみがな・続柄を記入して質問⑧へ。
 - ◇ 控除対象者から外れる場合は、訂正印なしで二重線を引いてください。他の親族がおられる場合は、質問⑧からにより控除対象者として該当すれば氏名・よみがな・生年月日・続柄・マイナンバ

ーを記入してください。

➤ いいえ

◇ 印字されていない親族がおられる場合、質問⑧からにより控除対象者として該当すれば記入してください。

◇ 親族がおられない場合、**質問はすべて終わりです。**

質問⑧ 親族の方には年金や給与など収入がありますか？

➤ は い⇒質問⑨へ

➤ いいえ⇒質問⑩へ

質問⑨ 親族の方の平成31年度中の所得金額の見積額は38万円以下ですか？

➤ は い⇒申告書「所得見積額」欄に**所得金額の見積額**を記入。質問⑩へ

➤ いいえ↓

◇ 38万円を超える方は、申告書の欄には記入しないでください。

◇ (親族の方が複数おられる場合は、質問⑦へ戻る)

質問⑩ 親族の方は障害者ですか？

➤ は い↓

◇ **普通障害者**⇒申告書「障害」欄の「**普**」に○印と摘要欄に身体障害者手帳等の種類と交付年月日・障害の程度(等級など)を記入。質問⑪へ

◇ **特別障害者**⇒申告書「障害」欄の「**特**」に○印と摘要欄に身体障害者手帳等の種類と交付年月日・障害の程度(等級など)を記入。質問⑪へ

➤ いいえ↓

◇ 申告書「障害」欄の「**なし**」に○印を記入。質問⑪へ

質問⑪ 親族の方と同居していますか？

➤ **同居**⇒申告書「別居」の欄には記入なし。質問⑫へ

➤ **別居**⇒申告書「別居」の欄に○印を記入。質問⑫へ

質問⑫ 親族の方は日本国外に住居していますか？

➤ **日本国内**⇒申告書「非住居」の欄には記入なし。へ

➤ **日本国外**⇒申告書「非住居」の欄に○印を記入し、**戸籍の付票等の写し**を添付してください。

(親族の方が複数おられる場合は、質問⑦へ戻る)

親族がおられない場合、質問はすべて終わりです。****

◇ ご不明な点がございましたら、基金あてご連絡ください。